

 **読書感想文を書こう**

新宿区立　　　　学校

　読書で大切なことは、たくさんの本と出会うこと。読むことに慣れたら、読書の幅を広げていきましょう。そして、じっくりと何回も読み深めることのできる本を見つけましょう。

　１冊の本とじっくり向かい合うことによって心を成長させ、その心の成長を読書感想文に表しましょう。

１．本と出会う

　今まで読んだ本を思い出してみましょう。

　感動した本、心を動かされた本、考えさせられた本、もう一度読みたい本、人に薦めたい本、とにかくよかった本……。この本と出会えてよかったと思う本は、ありませんか。そんな本をもう一度読んでみましょう。

　毎日の生活の中で、不思議だなと思っていること、気になっていること、大切だと思っていること、など考えていることは、何ですか。自分が興味をもっていることと関係のある本を探してみましょう。

２．考えながら何回も読む

　まず、思ったこと、感じたこと、考えたことをメモしていきます。付箋を使うのもいいでしょう。

 様子や登場人物の気持ちを考え、自分と比べてどうか、身の回りで似たような経験はないか、新しく知ったことは何か、など、考えながら読みましょう。筆者の言いたかったことや作品のテーマについて、身近な人に意見を聞いたり、調べてみたりすることもおすすめです。

３．本を読んで成長する

　新しいことを知ったり、今まで気づかなかったことに気づいたり、自分の考えが変わったり、考えが深くなったりしたことを自分の言葉で書きましょう。

 ノンフィクションや科学の本は、実際に調べたり、実験してみたりするのもいいでしょう。

４．感想文を書く

　①構成を考えましょう。

　　・一番言いたいこと、中心になることがら

　　・はじめ、中、終わりにかくこと

　②書き出しと書き終わりを工夫しましょう。

　③段落や会話文など、作文の決まり通りに書きましょう。　　④題を工夫し、言いたいことを表す題を考えましょう。

５．注意

　①本の文章をそのまま書く必要があるときは、「」をつけま　　　す。引用といいます。要約して書くときも同じです。

　②あとがきや他の人の作品をあたかも自分の意見のように書　　　くのは、「著作権法違反」です。絶対にしては、いけない　　　ことです。

　③差別用語や人を傷つけるような表現を使ってはいけません。

６．書き終わったら、読み直す

　字のまちがいや、文のおかしいところなどを直しましょう。

習った漢字は、使っていますか。よく読み直して、書き足し

たり書き直したりするところを考えましょう。

　人に読んでもらって、意見を聞くのもいいでしょう。

７．清書をしましょう。

　ていねいに、清書をしましょう。